

旭川赤十字病院出前講座のご案内

概要

旭川赤十字病院は、地域医療支援病院として「地域の医療機関、介護・福祉施設との連携推進」を基本方針の一つに掲げています。この基本方針に基づき、当院の職員が地域の医療機関、介護・福祉施設に出向き研修会を行うことを「出前講座」と名付けました。地域の医療機関、介護・福祉施設のみならず「顔の見える関係」および「共に学ぶ体制」を築くことにより、さらなる連携強化を目指したいと願っております。

みなさまのお役に立てるよう様々な講座メニューをご用意しております。どうぞ、お気軽にお申込みください。

対象

旭川市内・市外の医療機関、介護・福祉施設従事者

申込方法

旭川赤十字病院ホームページトップ画面からお入りください。



1. 出前講座メニュー表からご希望の講座をご選択ください。
2. 「出前講座申込書」に、ご希望の講座名、お申込み施設名・担当者様のお名前等をご記入いただき、メール添付（またはFAX）にて教育研修センターにお申込み願います。
3. 教育研修センターから、お申込み施設の担当者様に連絡させていただき、研修設備等について確認させていただきます。その後、担当講師と日程等を調整し、決定通知書をメールにてお送りいたします。
4. 決定後、担当講師からお申込み施設の担当者様に連絡させていただきますので、詳細についての打ち合わせをお願いいたします。
5. 講師招聘状（依頼文）を旭川赤十字病院長宛にご送付願います（ひな形を用意しております）。

＊日程の都合上、原則開催希望日の2か月前までにご連絡をお願いいたします。

＊ZOOM等を利用したオンライン講座が可能なメニューもございますので、お問い合わせください。

注意事項

1. 開催時間は、原則平日の14時から19時とさせていただきますが、ご要望がございましたらご相談ください。
2. 講座料金につきましては、お申込み施設の規程に準じます。規定のない場合は、別途ご相談とさせていただきます。
3. 担当講師の交通費につきましては、お申込み施設にお願いしております。
4. 講座時間は基本60分とさせていただきます（質疑応答を含む）。メニューの内容・時間により、組み合わせも可能でございます。
5. 当日の配布資料につきましては、事前にデータをメール等でお送りいたしますので、必要部数をご用意願います。
6. 講師の業務の都合により、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。
7. ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

旭川赤十字病院 教育研修センター

〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号

TEL: 0166-22-8111(1420・1421) FAX: 0166-22-7622

E-mail: kenshuu@asahikawa-rch.gr.jp

出前講座メニュー

2025 年度版

対象：医（医療職－看護師、医療スタッフ）

：介（介護職）

変更部分：朱書き

新規項目：黄色マーカー No.

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
1	呼吸リハビリテーション	・呼吸障害に対する運動療法 ・生活指導 (ADL の工夫)	講義・実技	医・介 時間：応 相 談	理学療法士 作業療法士
2	心臓リハビリテーション	・運動療法の重要性～リスク管理 も含めて～ ・生活指導 (ADL の工夫)			
3	栄養と貯筋	必要なカロリーと大事な運動			
4	顔面神経麻痺のリハビリテーション	・顔面神経麻痺の病態 ・表情筋運動の方法			
5	パーキンソン病を理解しよう	・パーキンソン病のリハビリテーション ・生活指導 (ADL の工夫)			
6	がんのリハビリ	・がんの運動療法の重要性 ・お家でできる簡単体操			
7	褥瘡予防	褥瘡予防のポジショニング			
8	介護する側の健康管理も大事	・転倒予防のための運動等 ・腰痛症の予防と運動 ・生活習慣病と運動			
9	どんな福祉用具を使えばいいの？	・用具の種類、選び方			
10	失語症	失語症の病態と関わり方	講義・実技	医・介 時間：応 相 談	言語聴覚士
11	構音障害	構音障害の病態と関わり方			
12	口腔ケア	口腔ケアの方法			
13	嚥下調整食	咀嚼・嚥下しやすい食事とは 嚥下調整食について	講義	医・介 時間：応 相 談	管理栄養士
14	腎臓病の食事	腎臓病の食事療法の基本			
15	心臓病の食事	心臓病の食事療法の基本			
16	糖尿病の食事	糖尿病の食事療法の基本			
17	糖尿病と検査	糖尿病で行われる検査の内容	講義	医・介 30～60 分	臨床検査技師 (検査)
18	心臓超音波検査	心臓超音波検査の実際	講義・実技	医 30～60 分	
19	血液型と輸血	輸血の際に行われる検査と血液型	講義	医 30～60 分	
20	微生物のお話	ノロ・インフルエンザ等の微生物 に関すること	講義	医・介 30～60 分	
21	正しい採血方法とは？	より良い検査結果を報告する為 の採血方法に関すること	講義	医 20～30 分	
22	がん細胞ってどんな顔	がん細胞の顕微鏡像	講義	医・介 20～30 分	臨床検査技師 (病理)

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
23	医療安全①	医療人のためのリスク感性養成講座	講義	医・介 60 分	臨床工学技士
24	医療安全③	医療機器安全管理責任者の仕事	講義	医 60 分	
25	透析管理①	透析室のリスクマネジメント	講義	医 60 分	
26	透析管理②	透析技術 (ブラッドアクセス管理など)	講義	医 60 分	
27	ペースメーカ管理	ペースメーカの安全管理	講義・実技	医 60 分	
28	救命処置	一次救命処置・二次救命処置	講義・実技	医・介 60 分	
29	人工呼吸器①	人工呼吸器の構造・原理・モード他	講義	医 時間：応相談	
30	人工呼吸器②	人工呼吸管理の実際	講義・実技	医 60 分	
31	被ばくのお話	被ばくと人体への影響	講義	医・介 60 分	診療放射線技師
32	薬のお話	薬全般について(内容は応相談)	講義	医・介 30～60 分	薬剤師
33	注射薬調製	注射薬の調製(抗がん剤含む)	講義・実技 可	医 30～60 分	
34	医療安全	旭川赤十字病院の医療安全対策	講義	医 30 分	医療安全管理者 (看護師)
35	訪問看護のお話	訪問看護の内容、利用方法、費用、連携	講義	医・介 30 分	訪問看護ステーション 看護師・保健師
36	看取りのケア①	施設入居者の人生最終段階のケアと支援	講義	医・介 時間：応相談	
37	高齢者とのコミュニケーション方法	高齢者との対話がうまくいかない時にはどうしたらいいの？	講義	医・介 30 分	老人看護 専門看護師
38	高齢糖尿病患者の特徴	高齢糖尿病患者さんへのケアで気をつけたいこと	講義	医・介 60 分	
39	がん患者さんの心に配慮したコミュニケーション	がん患者さんの気持ちの理解、コミュニケーション方法のポイント	講義	医・介 30～60 分	がん看護 専門看護師
40	知っておきたいがんの基礎知識	がんについて、がんの検査と治療、信頼できる情報と窓口など	講義	医・介 30～60 分	
41	コミュニケーションと意思決定支援	コミュニケーションの基礎知識、倫理原則、意思決定支援	講義	医・介 30～60 分	
42	がん看護と看護倫理	がん看護における看護倫理の重要性、がん看護で重要になる倫理的問題とその対応	講義	医・介 30～60 分	
43	がん患者さんの家族ケア	変化する家族機能への支援、予期悲嘆への援助、倫理調整の必要ながん患者家族へのケア	講義	医・介 30～60 分	

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
44	がん患者さんをケアする看護師へのケア	がん看護に携わる看護師の共感疲労、看護師のグリーフに対するケア	講義	医・介 30～60 分	がん看護 専門看護師
45	看取りのケア②	臨死期のケア、家族ケア、エンゼルケア	講義・実技	医・介 30～60 分	
46	がん疼痛	疼痛アセスメント、WHO 方式がん疼痛治療法、看護・ケア	講義	医 30～60 分	
47	痛み以外の身体症状緩和	消化器症状、呼吸器症状、倦怠感、食欲不振など	講義	医 30～60 分	
48	慢性疾患患者の捉え方	慢性病を持つ人の身体面、心理社会面を含めた包括的なアセスメント	講義	医・(介) 30～60 分	慢性疾患看護専門看護師
49	感染対策	感染対策について	講義	医・介 40 分	感染管理 認定看護師
50	手洗いと個人防護具	手洗い・防護具の着脱方法	講義・実技	医・介 30 分	
51	施設内感染ラウンド	施設内感染ラウンドと支援	ラウンド・フィードバック	医・介 90 分 時間：応 相談	
52	褥瘡管理①	褥瘡の予防(リスクアセスメント、圧迫の除去、ずれの低減、スキンケア)	講義・実技可	医・介 60 分	皮膚・排泄 ケア 認定看護師
53	褥瘡管理②	体位変換・圧抜き	実技	医・介 30～60 分	
54	創傷管理	創傷被覆材・外用剤の使用方法	講義		
55	ストーマケア①	ストーマ装具の交換	実技		
56	ストーマケア②	ストーマ装具選択	講義		
57	失禁ケア①	失禁時のスキンケア	講義		
58	失禁ケア②	おむつの使用方法	講義・実技		
59	スキンケア①	スキンケアの基本	講義・実技可		
60	スキンケア②	高齢者のスキンケア	講義・実技可		
61	術前準備の必要性	① 手術前の身体準備 ② 装着物を除去する必要性	講義	医 45 分	手術看護 認定看護師
62	手術体位と褥瘡予防	皮膚・神経損傷予防、手術体位固定の注意点	講義・実技	医 60 分	
63	手術中の体温管理	手術中の体温管理の重要性	講義	医 30～40 分	
64	麻酔の種類	麻酔の種類	講義	医 30 分	手術看護 認定看護師
65	麻酔に関わる看護	麻酔中の看護	講義	医 30～40 分	
66	手術機材の安全使用	手術機材の安全使用	講義	医 30～40 分	
67	呼吸の解剖生理	呼吸に関する解剖生理	講義	医 時間：応 相談	
68	呼吸・循環のフィジカルアセスメント	呼吸・循環のフィジカルアセスメント	講義・実技可		

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
69	酸素療法中の看護	実技可 適切な酸素投与方法、酸素療法中の看護	講義・実技	医 時間：応 相談	集中ケア、クリティカルケア認定看護師
70	排痰援助	実技 体位ドレナージ・気管吸引など	講義・実技		
71	人工呼吸器管理中の看護	感染対策、事故防止対策など	講義・実技		
72	容態悪化の兆候	感染など敗血症により急変する可能性のある患者の兆候について	講義		
73	高齢者の観察	加齢による身体の変化、それを踏まえた観察について	講義・実技	医・介 時間：応 相談	慢性心不全看護認定看護師
74	心不全って何？	心不全の症状・観察点について	講義	医・介 40～60 分	
75	心不全の悪化予防について	心不全の悪化を予防するための生活指導～水分制限・塩分制限について、感染症予防、過活動防止などについて	講義	医・介 40～60 分	救急看護、クリティカルケア認定看護師
76	BLS	一次救命処置(AED までの処置)	講義・実技	医・介 60 分 (調整可能)	
77	ALS①	二次救命処置:気管挿管の介助	講義・実技	医 60 分 (調整可能)	
78	ALS②	二次救命処置(BLS 修得者対象) 一連の流れ、静脈路確保	講義・実技	医 60 分 (調整可能)	
79	ALS③	二次救命処置(①②を受講した方) 一連の流れ	講義・実技	医 90 分 (調整可能)	
80	窒息①	窒息の介助法 -反応がある場合-	講義・実技	医・介 60 分 (調整可能))	
81	窒息②	窒息の介助法 -反応が数分後になくなった場合-	講義・実技	医・介 60 分 (調整可能))	
82	急変時記録	急変時の記録(視聴覚教材を用いて)と事例検討	講義	医・介 60 分 (調整可能)	
83	急変の前兆	急変前兆の予測と観察 -事例を通して-	講義	医・介 60 分 (調整可能)	
84	病態と看護①	急性期看護 -呼吸・循環・神経-	講義	医・介 各 60 分	
85	病態と看護②	熱中症と看護	講義	医・介 60 分 (調整可能)	
86	災害看護	災害時の対応	講義	医・介 60 分 (調整可能)	
87	患者のニーズに合わせた静脈路確保	根拠をもった静脈路選択	講義・実技	医 90 分 (調整可能)	
88	脳神経のフィジカルアセスメント	脳神経のフィジカルアセスメント	講義	医 20～60 分 (調整可能)	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
89	脳卒中における脳・神経機能のアセスメントと看護	①意識障害 ②運動障害 ③高次脳機能障害	講義・実技可	医・介 各 60～90 分 (調整可能)	

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
90	脳卒中再発予防のお話	再発予防、血圧の管理、生活習慣 回復期・維持期のリハビリ方法 脳卒中発症時の初期対応について	講義	医 30～60 分 (調整可能)	脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師
91	片麻痺患者のポジショニング	片麻痺のある患者のポジショニング	講義・実技	医・介 20～60 分 (調整可能)	
92	廃用症候群の予防技術	①誤嚥性肺炎 ②拘縮 ③深部静脈血栓症 ④起立性低血圧	講義・実技	医・介 各 60～90 分 (調整可能)	
93	安全な化学療法	外来化学療法におけるリスク管理	講義	医 30 分	がん化学療法看護 認定看護師
94	副作用対策①	悪心・嘔吐の種類とメカニズム、抗がん薬の種類、制吐薬、ケア	講義	医 30～60 分	
95	副作用対策②	骨髄抑制のメカニズムとケア	講義	医 30～60 分	
96	副作用対策③	便秘・下痢のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60 分	
97	副作用対策④	口内炎のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60 分	
98	副作用対策⑤	皮膚障害のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60 分	
99	副作用対策⑥	脱毛のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60 分	
100	副作用対策⑦	神経毒性のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60 分	
101	副作用対策⑧	倦怠感のメカニズムとケア	講義	医 30～60 分	
102	副作用対策⑨	アレルギー/過敏症のメカニズムと抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60 分	
103	血管外漏出を防ごう	抗がん薬の血管外漏出時のリスク、予防策と早期発見、患者教育、漏出時の対応	講義	医 30～60 分	
104	CVポートトラブルを防ごう	CVポートの種類、機能、穿刺、抜針、投与中の観察点、自己管理	講義	医 40～60 分	
105	抗がん剤の曝露を防ごう	曝露とは、抗がん薬の毒性、曝露場面と経路、曝露防止策、曝露時の対処法	講義	医 60 分	
106	緩和ケア	緩和ケアの定義、緩和ケアの対象、ケアの内容、非がんの緩和ケア	講義	医・介 30～60 分	緩和ケア 認定看護師
107	倫理的問題	臨床で起こりやすい倫理的問題とその対応	講義	医 30～60 分	

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
108	患者・家族とのコミュニケーション	コミュニケーションの必要性の理解、コミュニケーションスキルを身につける	講義 (実技可)	医・介 60分	緩和ケア 認定看護師
109	意思決定支援	アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning)	講義	医 30～60分	
110	がん疼痛	疼痛アセスメント、WHO 方式がん疼痛治療法と副作用対策	講義	医 30～60分	
111	痛み以外のがん症状緩和	消化器症状、呼吸器症状、倦怠感、食欲不振、悲嘆、口腔トラブル、リンパ浮腫	講義	医 30～60分	
112	がん患者の精神症状への対応	せん妄、抑うつ、不眠	講義	医 30～60分	
113	スピリチュアルペイン	スピリチュアルペインの理解とその対応	講義	医 30～60分	
114	終末期鎮静	適応と実際、倫理的要件、鎮静における看護師の役割など	講義	医 30～60分	
115	終末期における家族看護	家族のたどる心理過程と、関わり方、子どもへの対応	講義	医・介 30～60分	
116	看取りのケア②	臨死期のケア、家族ケア、エンゼルケア	講義・実技	医・介 30～60分	
117	遺族ケア	遺族の心情の理解とケアの内容	講義	医・介 30～60分	
118	終末期のリンパ浮腫ケア	終末期のリンパ浮腫ケア	講義・実技	医・介 60分	
119	終末期のコミュニケーション	悪い知らせを受ける時、意思決定場面などのロールプレイ	講義・実技	医・介 60分	
120	せん妄患者の看護	せん妄の治療・看護	講義	医・介 30～90分	精神科看護 認定看護師
121	精神科疾患患者の看護	精神疾患患者の精神症状の評価と看護	講義	医・介 30～90分	
122	睡眠障害患者の看護	睡眠障害の薬物療法と看護	講義	医・介 30～60分	
123	認知症看護	安心感を提供する「カンフォータブルケア」	講義	医・介 60～90分	
124	糖尿病予防	糖尿病を予防するために日常で気をつけること	講義	医・介 30～40分	糖尿病看護 認定看護師
125	糖尿病①	糖尿病の一般的内容	講義	医・介 30～40分	
126	糖尿病②	糖尿病の合併症の内容、予防方法	講義	医・介 30～40分	
127	インスリン注射	インスリンの効能と副作用、注意点	講義	医・介 30～40分	

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
128	低血糖症状と看護	低血糖の症状、対処法、注意点	講義	医・介 30～40 分	糖尿病看護 認定看護師
129	糖尿病のフットケア	ニッパーでの爪切り、打腱器、ノ フィラメント、振動覚の使用法	講義・実技	医・介 30～60 分	
130	安全に食べる	安全に食べさせるための姿勢、 食べさせ方、食事形態の検討、と ろみ水の作成方法	講義・実技	医・介 60 分	摂食・嚥下 障害看護 認定看護師
131	寝たままでもお口をさ れいに	寝たきりの人、嚥下障害のある 人、認知症により拒否がある人の 口腔ケア	講義・実技	医・介 60 分	
132	食べる機能を評価する	食べる機能が低下している恐れ がある人に対する評価方法	講義・実技	医・介 60 分	
133	認知症の症状とケア	中核症状とケア、行動・心理症状 とケア、せん妄の予防とケア	講義	医・介 60 分	認知症看護 認定看護師
134	日常生活のケア	日常生活のアセスメントの視点、 生活リズムの調整、転倒予防	講義	医・介 60 分	
135	認知症ケアにおける倫 理	意思決定支援、ケアにおける倫 理的課題、ケアにおける倫理的 ジレンマの対応	講義	医・介 60 分	
136	女性の健康課題(月経 について)	女性特有の月経に関するトラブ ルと対策について	講義	医・介 30～60 分	産婦人科外 来助産師
137	女性の健康課題(更年 期について)	更年期世代に多い悩みと対策に ついて	講義	医・介 30～60 分	

旭川赤十字病院「出前講座」申込書

申込書記入日 年 月 日

施設名称：				
連絡先	住所：〒			
	職位・職名：		氏名(ふりがな)：	
	電話：	FAX：	E-mail：	

※申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、出前講座のために使用させていただくものであり、その他の用途に使用することはありません。

※E-mail アドレスは連絡用に必要となります。必ずご記入下さいますようお願いいたします。

出前講座の希望内容	開催希望日時	第1希望	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分		
		第2希望	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分		
		第3希望	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分		
	開催会場名				
	会場住所	〒			
	番号・講座名	No.			
参加予定人数		名	参加者の内訳	(例：看護師 30 名、介護士 10 など)	
設備の有無 ☑ を記入ください		☐ ノートパソコン ☐ プロジェクター ☐ スクリーン ☐ ポインター ☐ マイク ☐ 資料印刷可能 その他 ()			

旭川赤十字病院「出前講座」決定通知書

ご依頼いただきました出前講座は、下記の通り決定しましたのでお知らせいたします。

年 月 日

決定事項	番号・講座名	No.		
	開催日時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分		
	職位・職名		ふりがな 講師氏名	
	講師連絡先	部署： 電話：0166-22-8111 (代表) E-mail：		

- ・院長宛に講師依頼文書（招聘状）の郵送をお願いいたします。
- ・以後、担当講師からご連絡させていただきますので、打ち合わせをお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら下記の連絡先までお問合わせください。

【連絡先】 旭川赤十字病院 教育研修センター

〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号

TEL : 0166-22-8111(1420・1421) FAX : 0166-22-7622